

クループ

○どんな病気？

ウイルスに感染し、のどの奥の**喉頭**という部分に炎症が起こり、**腫れてしまう**病気です。

はじめは、発熱やかぜの時と同じような咳ですが、しだいに声がかすれて犬の遠吠えのような「ケンケン」した咳をするようになります。

喉頭は**空気の通り道**として大事な場所ですが、この部分が炎症で腫れるため、咳だけではなく、**呼吸困難を引き起こすこともあります。**

○おもな症状

- 声がかれる
- イヌが吠えるような（犬吠様咳嗽）ケンケン咳
オットセイの鳴くような咳
- 息を吸う時にゼーゼー、ヒューヒューする。
- **夜間に咳、呼吸困難が悪化する傾向があります。**

○治療

- 喉頭の腫れをとる吸入（ボスミン）を行います。
- 症状に応じて、喉頭の腫れをとるためステロイド薬を処方します。

○自宅での注意点

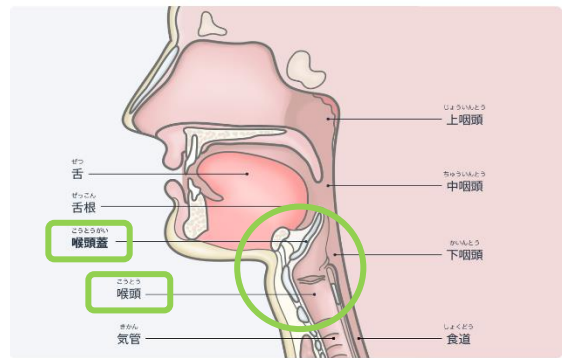
- 室内の加湿
- シャワーを流して湯気をたてて、お子さんを浴室につれていくと、加湿効果で咳がおちつくことがあります。
- 泣くと咳が悪化します。

• **夜間に咳が悪化する傾向があります。**

① 息苦しそうなとき

② 咳がひどくて横になれないとき、眠れないとき

このような症状があったら、速やかに救急外来を受診してください。



○の部分で、役割が3つあります。

気道確保：空気を通す

誤嚥防止：呼吸をするための通路に異物がはいらないようにする

発声：声帯を使って発声する。



さくらキッズクリニック
sakura kids clinic